

医業トピックス

税理士法人 長谷川会計

〒733-0822 広島市西区庚午中 2-11-1

TEL 082-272-5868

URL <http://www.hasegawakaikai.com/>



人材育成に悩む

“フレッシュ管理者”のためのヒント



新年度を迎え、新たに管理者となった“フレッシュ管理者”の方々は、部下との関わりで悩んでいませんか？初めての業務が多く、不安も大きいかもしれません。ここでは、部下とのコミュニケーションのヒントを挙げます。

自分を知る

部下を育てるには、相手を理解し、その人の強みを生かし成長を促すことが必要です。

部下それぞれの強みを十分知ることが大切ですが、その前にまず自分の強みを知ることが重要です。コミュニケーションにおける、自分の得意・不得意をリストアップしてみましょう。

双方向のコミュニケーションを

管理者になりたては、「自分が頑張らなくては！」との思いが強すぎて、一方通行になりがちです。キャッチボールのように、相手と自分が丁寧にやり取りできているか確認しましょう。部下に何かを伝えるときは、内容を事前に明確にし、簡潔に話します。複数のことを伝える場合は、その数を先に伝え、一つずつ短く区切って伝えると明確になります。

自分のパワー（影響力）を理解する

管理者は、責任も使える権限も大きくなります。自分の発言や行動の影響力を理解し、力を適切に使いましょう。基本は相互尊重の気持ちです。

反応は人それぞれと再認識する

管理者も部下も、コミュニケーションスタイルや反応は様々。この当たり前のことを当たり前のこととして丁寧に捉え、時には自分にとっての「普通」「当たり前」を疑うことも必要です。

成功体験を増やす

部下との関わりで、全てうまくいくことはありません。うまくいかないことも受け止め、そこから学べることを見つけましょう。逆に、良い関わりができたときも、何がうまくいったポイントなのかを振り返ってみることも大切です。記録しておくのもよいでしょう。

一緒に成長する

部下も管理者も、違う立場で組織に貢献するチームメートです。部下の能力を生かし、成長を促すと共に、管理者自身も学び、成長を続けましょう。マネジメントについて学んだことのない人は、人的資源活用に関するマネジメント本を読むなどして基礎を学んでおきましょう。

【ポイント】まずは自分のコミュニケーションの特徴を知った上で、部下の話を聴く姿勢を心掛け、部下と一緒に成長していきましょう！